

『奈文研論叢』第2号の刊行

2019年度に創刊された『奈文研論叢』の第2号(A4判 190頁)が、2021年3月22日に刊行されました。掲載論文・資料紹介は次の8本です。

[論文]

- 森川 実「土片塚から土片坏へー土師器杯Cの法量変化からみた実用器種の変容についてー」
- 庄田 慎矢・バンダリ スダルシャン・佐々木 由香・村上 夏希・劉 歆益「甘樫丘東麓遺跡出土コムギ炭化種子のユーラシア考古植物学的位置づけ」
- 山崎 健「上総国・下総国の貝類利用ー地域における生業研究の一試論ー」
- 神野 恵「平城京近郊窯の須恵器生産」
- TAMURA Tomomi, NAKAMURA Daisuke, and TRUONG Dac Chien “Chemical Analysis of Ancient Glass in Vietnam : A Comparative Study of Glass Beads Found in Vietnam and Japan”

[資料紹介]

- 村田 泰輔「藤原宮下層運河SD1901Aの層序」
- 橘 悠太「奈良文化財研究所所蔵『覚城院・萩原寺等関係中世聖教類』」
- 吉川 聡「興福寺二条家記録「文亀三年引付」の紹介」

本号でも、奈文研でおこなわれている研究が多岐にわたることを反映して、多様な分野・内容の論文、資料紹介を掲載することができました。また、田村朋美ほかによる英文論文を載せることができました。今後は、こうした外国語による論文も積極的に掲載し、奈文研での研究成果を国内ばかりでなく、国外に向けても発信していこうと考えています。平城宮跡資料館、六一書房 (<https://www.book61.co.jp>) で発売中です。 (企画調整部 加藤 真二)



刊行された『奈文研論叢』第2号